



2026年3月27日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス  
代表者名 代表取締役 中村 友哉  
(コード番号：402A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 折原 大吾  
(TEL. 03-6262-6105)

## 宇宙戦略基金 第二期「次世代地球観測衛星に向けた観測機能高度化技術」 採択のお知らせ

当社は、連結子会社の株式会社アクセルスペースが国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）が公募する宇宙戦略基金事業第二期の技術開発テーマ「次世代地球観測衛星に向けた観測機能高度化技術」において提案した技術開発課題が採択されましたことをお知らせいたします。

### 記

#### 1. 宇宙戦略基金事業の概要

宇宙戦略基金事業は、産学官の結節点として、JAXAに設置した基金を活用し、民間企業・大学等が複数年度にわたって大胆に研究開発に取り組めるよう支援を行うものです。「宇宙技術戦略」等を踏まえ、内閣府主導の下、4府省（内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省）が連携し、本事業の制度設計を定める基本方針や個別の技術開発テーマを定める実施方針を策定し、民間企業、スタートアップ、大学法人等に対する先端技術開発、技術実証、商業化等の支援を行います。

本基金の第2期3,000億円分の技術開発テーマの内、「次世代地球観測衛星に向けた観測機能高度化技術」に対して、株式会社アクセルスペースを代表機関とし、連携機関3社からなるプロジェクトチームにより研究開発課題「衛星編隊・旅客機観測によるCO2発生源別排出量・吸収モニタ」を応募しておりましたが、この度、本課題が採択されました。株式会社アクセルスペースは本課題において搭載センサの開発支援・インテグレーション、航空機による検証システムの構築、大量の分光データ処理の最適化、センサ実証用衛星開発、軌道上データ評価および全体統括を行います。

## 2. 本事業の概要（予定）

- ・配分機関：宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- ・技術開発テーマ名：次世代地球観測衛星に向けた観測機能高度化技術
- ・技術開発実施目標：（A）新たな市場の開拓
- ・技術開発課題名：衛星編隊・旅客機観測によるCO2発生源別排出量・吸収モニタ
- ・代表機関：株式会社アクセルスペース（研究代表者：久世 暁彦）
- ・連携機関：
  - 明星電気株式会社（研究分担者：村尾 一、岩下 久人）
  - ANAホールディングス株式会社（研究分担者：松本 紋子）
  - 株式会社JIJ（研究分担者：牧野 大介）
- ・協力企業（抜粋）：
  - 国立大学法人香川大学
  - 株式会社三菱UFJ銀行
  - 東京海上日動火災保険株式会社
  - Universities Space Research Association（USRA）
- ・1件あたりの支援額<sup>\*1</sup>：30億円（打上げ・軌道上実証費用を含む）が上限
- ・事業期間<sup>\*2</sup>：6年程度（最長）

### 注記

1. 事業規模総額。今後ステージゲート審査等により変動する可能性があります。
2. 支援開始後3年目を目途にステージゲート評価が実施されます。また、その結果によっては、それ以降の所要の事業期間分（最長4年程度迄とし、5年目を目途に追加のステージゲート評価を実施）の支援を受けることが可能となります（打上げ・軌道上実証に係る期間を含む）。

本件は、2026年3月23日に採択結果が発表されましたが、本日、JAXAより開示許諾を得られたため、速やかに開示いたします。

## 3. 今後の見通し

2027年5月期以降、6年程度をかけて当社連結業績へ寄与することを想定しております。株式会社アクセルスペースは今後数カ月を目途に、連携機関との間で委託契約を締結予定です。現時点において当社の受領金額は未確定ですが、少なくとも2025年5月期の連結売上高の10%以上に相当する金額を実施期間にかけて総額で受領する見込みです。当委託契約を締結することを決定した際には、詳細を速やかに開示する予定です。

## 4. その他

案件の詳細につきましては、宇宙戦略基金のウェブサイトをご参照ください。  
JAXAウェブサイト「宇宙戦略基金 衛星等（第二期）次世代地球観測衛星に向けた観測機能高度化技術」

[https://fund.jaxa.jp/techlist/theme2\\_8/](https://fund.jaxa.jp/techlist/theme2_8/)

以上